



独立行政法人

国立病院機構

うれしの

NHO URESHINO MEDICAL CENTER

第19号

発行所

嬉野医療センター

佐賀県嬉野市嬉野町

大字下宿内 2436 番地

印 刷 陽文社印刷

2008.10



「草原に咲くコスモス」 経営企画係長 今泉 久光

患者さんの権利

- | | |
|-----------------------------|--------------------------------|
| 1 安全で、かつ平等な最善の医療を受ける権利 | 5 常に人としての尊厳を守られる権利 |
| 2 疾患の治療等に必要な情報を得、また教育を受ける権利 | 6 医療上の苦情を申し立てる権利 |
| 3 治療法を自由に選択し、決定する権利 | 7 繼続して一貫した医療を受ける権利 |
| 4 プライバシーが守られる権利 | 8 生活の質（QOL）や生活背景に配慮された医療を受ける権利 |

こだわり

- ② 中期目標期間の暫定評価について
- ③ 看護研修「口腔ケア」に参加して
平成20年度がん看護エキスパートナース研修に参加して
- ④ 医薬品情報管理室コーナー
- ⑥ ちけん室コーナー
- ⑦ 第39回 嬉看祭を終えて

- ⑧ 第2回 健康フェスタを終えて
- ⑨ ろうけつ染め展が開かれました。
嬉野医療センターにおける緩和ケアチームの活動
- ⑩ 花だより／新人紹介
- ⑫ 外来診療担当医表／編集後記



中期目標期間の暫定評価について

事務部長 中村 淳一

国立病院機構の中期目標期間(平成16年度～20年度)も早や4年6月経過し、後6ヶ月と秒読みの段階となっています。先般、評価委員会による機構の業務実績の暫定評価結果が示されたので簡単に紹介します。

当院の目標期間中の評価については、地域医療支援病院・がん診療連携拠点病院の指定、病院機能評価(Ver 5.0)の認定DPCの導入など、他の病院に先駆けて職員が一体となって取り組み、医療分野の評価では、毎年度全国上位に位置しております。また、臨床研究についても、大規模臨床研究、新規医薬品の開発等の治験へ積極的に参加し、その研究実績が評価され、今年度、臨床研究部が正式な組織として認められたことは記憶に新しいところです。一方、経営面についても、医療分野の取り組み効果により医業収益は年々増収が図られています。しかしながら、統合整備に伴う減価償却費率が高いこと、また、病院運営上不可欠な人的、物的な投資の増加も大きいことから、平成19年度の経営収支は98.9%と目標に今一步届きませんでした。その状況を踏まえ、収支の黒字化を達成すべく今年度の重点目標を「経営基盤を健全化し、継続的に安定した医療供給体制を築く」とし、病院全体として取り組んでおり、9月までの実績は新入院患者の確保、手術件数の大幅な増などにより各種の経営指標は年度計画及び前年度を上回る実績で順調に推移しています。

次に、機構全体の暫定評価ですが、評価委員会において中期目標に沿い国立病院機構の果たすべき役割を適正、かつ、効率性・有効性・透明性の視点から、診療面、経営面を評価し、その結果、委員から「今後とも患者の目線に立った良質の医療と健全な経営とのバランスがとれた一層の取り組みを期待したい」旨の意見もあ

るよう、高く評価している一方で、個別事項として継続した改善に向けた取り組みを求められております。

個別には、診療、臨床研究、教育研修、経営改善等の14項目(3項目は重複評価)をS、A～Dの5段階で評価され、うち4項目でS評価とされています。一つ目は診療面で、質の高い医療の提供。二つ目にEBM推進への積極的取り組みが評価された臨床研究事業。また、経営面においても、経営収支の黒字化を期間の全年度において達成していること。国から承継した長期債務残高(約7,600億円)を着実に償還している点の2項目が高い評価がされています。その他の10項目についてもすべてAと全体として高い評価がされていると考えますが、平成19年度に策定された経営改善計画(再生プラン)の計画目標達成に向けた努力を今後とも注視していくとの付記もされており、その計画達成にむけて更なる努力が求められています。(詳細は、機構本部のホームページをご覧下さい。)

このように、今年度は、目標期間の取り組みの評価を受ける節目年度であり、経営環境が厳しい状況ではありますが、職員一人ひとりが同一視向で取り組み、掲げた目標の達成を実現する必要がありますので、ご理解と協力をよろしくお願いします。





看護研修「口腔ケア」に参加して

5病棟 小野えり子

平成20年度短期看護研修「口腔ケア」が7月17日に国立看護大学で行われました。この研修には、全国の独立行政法人国立病院機構から看護師が1~2名ずつ、計40名が参加しました。私たちは自分で歯磨きができない患者様に対して、お茶を含ませたガーゼを使用して毎日口腔ケアを行っています。しかし、この方法で本当に口腔内が清潔になっているのか、また、もっと他に効果的な方法があるのでないかと疑問を持ちながらケアをしていました。そのため、エビデンスに基づいた正しい口腔ケアの方法を学習したいと思い、この研修に参加させていただきました。

午前中は口腔ケアの重要性や利点、有効性等について講義を受け、午後は実際にグループに分かれ、看護師役、患者役となりお互いに体験をしました。口腔疾患で一番問題になるのは、虫歯よりも歯周病であり、その原因は食べかすではなくプラーク(歯垢)です。そのプラークを取り除くには、洗口法や口腔清拭法よりも歯磨き法(ブラッシング)がより効果があることを学びました。この研修では、普通の歯ブラシではなく電動歯ブラシを推奨されていました。演

習をした際、他者に電動歯ブラシを使用することは初めてだったためとても難しいと感じました。しかし、効果的な口腔ケアを行うことで誤嚥性肺炎や歯周病の予防となり、患者様が楽しんで食事をすることにつながります。そのためには、きちんとした目的意識を持って、より効果的な方法でケアを行うことが大切だと学びました。また患者役も体験できただけ、どのようにすれば患者様が苦痛を感じることなく口腔ケアを行うことができるかを考え、実践することができました。

今回の研修で学んだことを今後の看護にいかし、口腔ケアに対する意識を高めることで、誤嚥性肺炎や口腔疾患が少しでも減少するように努めていきたいと思います。



平成20年度がん看護エキスパートナース研修に参加して

西4病棟 南 聰美



6月16日から6月27日の10日間、九州がんセンターにおいて行われた「がん看護エキスパートナース研修」に参加しました。「がん看護の均てん化および実践レベルの向上を図り、がん看護のジェネラリスト育成・強化すること」がねらいにあり、がんの動向からがん対策基本法など医療の流れや、疾患、治療、看護と全般について講義を受けました。普段意

識せず行っている看護も知識・技術を持って行うことの重要性を再認識しました。また、患者・家族のニーズも様々で他職種との連携が必要だと感じました。

研修に参加したことで改めてがん看護について学び、考えられることができました。今回の学びを深めながら今後に活かしていきたいと思います。



医薬品情報管理室コーナー

医薬品情報管理係長 高島 伸也

点滴時間には適正時間がある！

病棟での会話

指導医：Aさんのジェムザール注は準備できた？

研修医：はい、調製終わりました。抗がん剤なのでゆっくり3時間で点滴します。・・・？



落とし穴

ジェムザールは、60分以上の時間をかけて点滴静注した場合、骨髄抑制や肝機能異常などの副作用が高頻度に認められることが、臨床試験の段階で報告されています。そのため、ジェムザール注の適正投与時間は30分間と決められています。

注射剤投与方法のうち、投与時間・投与速度が一番問題となるのは静脈内投与です。特に急速静注では、薬効の即効性が期待できる反面、薬物血中濃度上昇に伴うリスクが高くなります。点滴静注においても、投与時間・投与速度に十分な注意を払わなければ、重篤な副作用を招く恐れがあります。

静脈内投与における投与時間・投与速度規定の理由としては、血管痛・血栓性靜脈炎が約4割、その後に血圧低下、脳・末梢浮腫、悪心・頭痛、ショック、不整脈の順に続くことが報告されています。心停止やショック、不整脈、血圧低下など、重篤な副作用に関しては患者の生命にかかわるため、未然に防がなければいけません。

よって、注射剤の適正投与時間・投与速度を理解し、きちんと守ることが重要です。

表1に投与時間・投与速度に注意すべき薬剤を示しました。他にも投与速度・速度に注意しなければいけない薬剤は数多くあります。薬剤科が配布した「医薬品の安全使用のための資料」の中にも掲載されていますので参照してください。

表1 投与時間・投与速度に注意すべき薬剤

a. 投与時間が短すぎる・投与速度が速すぎることで副作用が引き起こされる薬剤

商 品 名	用 法	投与時間・投与速度	副 作 用
静脈麻酔薬			
ドルミカム注	静注 筋注	【静注】 ワンショット：なるべく太い静脈を選んでできるだけ緩徐に(1分間以上かけて) 持続静注：0.03～0.18mg/kg/時	呼吸抑制、呼吸停止、血栓性静脈炎、 小児で低血圧およびけいれん発作
プレセデックス注	静注	初期負荷投与：6μg/kg/時で10分間持続静注、 維持投与：0.2～0.7μg/kg/時で持続注入	高血圧、低血圧を伴う徐脈、心停止
ケタラール静注用	静注 点滴静注	【静注(麻酔導入)】緩徐に(1分間以上) 【点滴静注(麻酔維持)】最初30分：0.1mg/kg/分、30分以降：0.05mg/kg/分	呼吸抑制、循環器不全

商 品 名	用 法	投与時間・投与速度	副 作 用
抗てんかん薬			
アレピアチン注	静注	1分間に 1mL を超えない速度で、徐々に(衰弱の著しい患者、高齢者、心疾患のある患者では、注射速度をさらに遅くするなど注意する)	心停止、一過性の血圧低下、呼吸抑制などの循環・呼吸障害
抗不整脈用剤			
静注用キシロカイン 2%	静注	50～100mg(1～2mg/kg) を 1～2 分間で緩徐に	局所麻酔薬中毒(呼吸停止、意識消失、低血圧、全身けいれん、耳鳴、構音障害、振戦、傾眠、しひれ感、ふらつき、嘔気、多幸感)
オリベス点滴用 1%	点滴静注	通常 1分間に 1～2mg(0.1～0.2mL) の速度で。最高 1分間に 4mg(0.4mL) まで	同上
気管支拡張・強心薬			
ネオフィリン注	静注 点滴静注	5～10 分を要して緩徐に	熱感、不整脈、過呼吸、ショック、けいれん、意識障害、嘔気、嘔吐
心不全用薬			
ハンプ注	静注	0.1 μ g/kg/ 分で持続静注、最高 0.2 μ g/kg/ 分	血圧低下、徐脈
抗悪性腫瘍剤			
カンプト注	点滴静注	【A・B 法】500mL 以上に溶解し 90 分以上かけて 【C 法】250mL 以上に溶解し 60 分以上かけて	ショック
タキソール注	点滴静注	【A 法】3 時間かけて【B 法】1 時間かけて	過敏反応
タキソーテール注	点滴静注	1 時間以上かけて	骨髓抑制
抗菌薬			
パナンコシン注	点滴静注 筋注	【点滴静注】30 分間～1 時間かけて	心停止
塩酸バンコマイシン点滴用	点滴静注	60 分間以上かけて(1g 投与であれば 2 時間以上が望ましい)	レッド・ネック症候群、血圧低下、心停止
タゴシッド注	点滴静注	30 分間以上	ショック、レッド・ネック症候群
電解質補正液			
アスピラカリウム注 10mEq	点滴静注	K ⁺ として 40mEq/L 以下に希釈して 8mL/ 分を超えない速度で(必ず希釈して点滴静注のみに使用すること。前号参照)	高カリウム血症、不整脈、心停止
K.C.L 点滴液 15% (15W/V%、2 モル液)	点滴静注	K ⁺ として 40mEq/L 以下に希釈して 8mL/ 分を超えない速度で(必ず希釈して点滴静注のみに使用すること。前号参照)	高カリウム血症、不整脈、心停止

b. 投与時間が長すぎる・投与速度が遅すぎることで副作用が引き起こされる薬剤

抗悪性腫瘍剤			
ジェムザール注	点滴静注	30 分間(30 分間で投与することにより、副作用を最低限にとどめる)	骨髓抑制、肝機能障害

文責：医薬品情報管理室

参考文献：医薬品過誤ブレアボイドー落とし穴に気をつけて／南江堂



うれしの すけん室コーナー



治験管理室 CRC 岩永由香

今回のお題 ローカルデータマネージャー養成研修に参加しました

平成20年9月4・5日に独立行政法人医薬品医療機器総合機構主催、薬剤師研修センターのローカルデータマネージャー養成研修（北里大学薬学部にて）に参加させていただきました。

ローカルデータマネージャーってなに？初めて耳にする方がほとんどだと思います。

治験に係わる専門のスタッフには**治験コーディネーター（CRC）**がいます。CRCはいわば患者様側にたって、患者様に治験を受けていただくための支援をする人です。治験薬を飲んでいると思わぬ副作用が出る可能性があります。小さな変化も見逃さず、患者さんにとって一番安全な方法が何かを考えたり、患者さんが安心して治験を続けられるように配慮するのがCRCの一番の役割です。**ローカルデータマネージャー（LDM）**の役割は治験で得られたデータが本当に正しいものであるか、きちんと計画書を守って得られたものか、報告書にはまちがいはないか、など治験を計画書やデータの側面から見て、正しい報告書を作成することです。せっかく検査をしてもその検体保管をおろそかにしたり、単位まちがいの検

査データを記載していくは正しい結果は得られません。1つの異常な検査値が出た場合に、それに関連した検査を実施してそのデータの信頼性の裏付けを取ったり、副作用の発現に対して確認の為の情報を取り組むことが治験の質をよりよくする上で必要だといわれています。

今回の研修ではLDMの視点で治験やデータを見る学びを学んできました。患者様の好意で得られた大切なデータを新薬開発にきちんと役立ててもらえるよう、正確なデータを提供できるようになります。

当院ではCRCがLDMの役割も行っていますが、もっともっと当院の治験が大規模になればCRCとLDMの2つの職種ができるかもしれません。CRCやLDMに興味のある方はいらっしゃいませんか？一度、仕事内容を見に来ませんか。

第39回 嬉看祭を終えて



実行委員長 第55回生
高井 由紀子

今年の嬉看祭は、新校舎となってはじめて行われる嬉看祭でした。新しい校舎にちなんでテーマを「START～可能性を信じて～」としました。嬉看祭を通して自分の将来について、また、目標とする看護師について考える機会になればと願いをこめて設定しました。

嬉看祭の準備では、当日まで配置を変えたりなど変更続きで、成功させることができるのが不安でいっぱいでしたが、各係が連携し成功させることができました。準備を通して皆で作り上げる難しさを知り、協力することの大切さ、やり遂げる喜びを感じることができました。多くの人の力があったからこそ無事にやり遂げることができたのだと思います。本当にありがとうございました。



副実行委員長 第55回生
松下 葉月

今年の嬉看祭は、新校舎と体育館を会場とする例年と異なるものであり、準備の段階では分からぬことや戸惑うことが多かったのですが、無事に終えてみると、とても楽しむことができ良い学校祭であったと思います。

このように成功させることができたのは、限られた時間の中、準備に取り組んだ学生の協力と、それを支えてくださった地域の方々、先生方のおかげです。

一つのことをみんなでつくりあげることは簡単なことではありませんが、協力していけばやり遂げることができると改めて感じさせられるよい機会となりました。これからも、お互い協力し合いよい学校生活を送っていき、看護についての学びを深めていきたいと思います。





第2回健康フェスタを終えて

手術室師長 稲田 律子

平成20年10月10日(金)11日(土)

「めざせ健康!!明るい未来!」をキヤッチフレーズとし、嬉野の地域の方々とのふれあいを深め、心豊かに予防的医療の推進を図ろうと昨年に引き続き、第2回目となる嬉野医療センター健康フェスタを開催しました。

昨年の目玉であったBLS、病院体験ツアーにくわえ今年は新コーナーも設けました。嬉野市の保健師さんにご協力をいただいた歯科コーナー、感染管理認定看護師による感染対策(手洗い)コーナー、糖尿病療養指導士によるフットケアコーナー、未来の医師・看護師になりきれる白衣試着コーナー、本格的にリラクゼーションできるヨガコーナーなどを企画し、第1回目のフェスタを立ち上げてくださった方々の意思を引き継ぎ、第2回目のフェスタが更に盛り上げられるようにプロジェクトチーム、看護部業務委員、その他病院スタッフが一丸となって取り組みました。

今年もボイラー技師さんの手作りによるマスコットキャラクター(昨年はキティちゃんで今年はアンパンマンでした。)が正面玄関で出迎えて、初日のスタートを切りました。小学生を対象とした病院体験ツアーでは嬉野小学校、轟小学校より約90名の参加がありグループごとに病院内の各部署を回り病院内は賑やかな子供たちの笑顔と笑い声に活気づいていました。

また、BLSでは人形を使って救急救命士より指導をうけ熱心に取り組み、休憩時間では栄養部門の協力によるぜんざいコーナーが設けられ、皆おいしそうにぜんざいを食べていました。中にはそんな子供たちに交じってぜんざいを2杯も食べていた先生も・・・。



二日目は、各部門より企画を出し合った相談コーナーを設けて、栄養相談、お薬相談など来院された方々の足を止める熱心な指導が繰り広げられていました。フェスタの締めくくりは有田碗琴奏者筒井孝司さんによるお碗琴演奏と、もちろん恒例となった計屋先生(泌尿器科部長)ひきいる嬉野オーケストラのみなさんによるコンサートです。舞台後ろの電飾も華やかに、スポットライトも準備され本格的な照明のなか、素晴らしい演奏と楽しい合唱で心和むひとときでした。何度も何度も企画書の修正・打ち合わせと大変でしたが、プロジェクトチームの方々、看護部業務委員、その他病院スタッフの皆さんのご協力があったからこそ、第2回目の健康フェスタも大成功に幕を閉じたと感謝の気持ちで一杯です。来年ももっと多くのスタッフが参加し、地域の方々とふれあい、みんなが楽しめるフェスタが開催できることを期待しています。



ろうけつ染め展が開かれました。

患者サービス向上委員会

福岡県久留米市の羽江育子さんが中心となって活動している「グループD」のろうけつ染め展が病院ギャラリーで開かれました。グループDは、障害者の方々がろうけつ染めを通して社会参加活動をしているグループです。色鮮やかなクジヤク、フクロウ、コガネムシ、ザリガニ等、虫・動物や花がいきいきと描かれ、見た人が元気が出で、こころ暖かくなる作品でした。



嬉野医療センターにおける緩和ケアチームの活動

がん性疼痛看護認定看護師 市川 瞳

嬉野医療センターでは、平成18年に緩和ケアチームが設立され、病院内を組織横断的に活動しています。緩和ケアチームは、院内での緩和ケアの実践の中心的役割を果たし、身体的苦痛だけでなく、精神的、社会的苦痛に対しても、緩和出来るようにかかわっていく事を目的としています。また、緩和ケアの介入の時期は、ターミナル期に限らず診断早期からかかり、多職種からなるチームメンバーによるアプローチにより、迅速にかつ個別性のある緩和ケアの提供出来るように心がけています。そのため、構成メンバーも様々な職種から成り立っており、麻酔科医師2名、看護師7名、薬剤師1名、理学療法士1名、メディカルソーシャルワーカー1名、管理栄養士1名、心理療法士1名の計14名から構成されています。緩和ケアチームの具体的な活動内容としては、月に1回の会議を行い、各病棟での痛みに困っている患者様の症状緩和の具体的な対策、薬の調整、今後の方針についての社会資源の利用など、それぞれの専門的な視点から、患者様を中心に考え、話し合いをしています。また、平成20年7月から、がん性疼痛看護認定看護師による病棟ラウンドを、週1回行い、がんの痛みにより苦



しんでいる患者様のもとに伺い、苦痛の原因について話したり、鎮痛薬の評価や症状が和らぐ看護ケアの提供、病棟スタッフへの緩和ケアに関する相談や指導を行っています。また、がんによる痛みだけでなく、その他の吐き気や体のだるさなどの症状緩和や、心のつらさ、医療費などの経済的不安などにも着目し、緩和ケアチームのメンバーと協力して、活動しています。現在、がん患者様の急増により、緩和ケアチームに対する期待も高まっています。がん患者様にとって、少しでも患者様の生活の質が向上するようにチーム一丸となって頑張っていきたいと考えています。

花だより

編集副委員長 計屋絃信

今号はきんもくせい、ぎんもくせい、ひいらぎもくせいを載せたいと思います。



ご存じきんもくせい（金木犀）の花です。
この写真を見ているだけで、あのいい香りがして
くるようです。



金木犀の親せきに銀木星があるのもご存じのこと
と思いますが、銀木星の香りは控え目で上品です。



このほかにひいらぎもくせい（柊木犀）があり、
ぎんもくせいとひいらぎの雑種ということで
した。

新人紹介



麻酔科レジデント

近藤 仁子

9月からお世話になっております、
佐賀大学麻酔科の近藤です。

平成18年に久留米大学を卒業し、佐賀県立病院
好生館で初期研修をしてきました。

麻酔科としては1年目であり、先生方や看護師
さん達の仕事の速さについて行けずお待たせしてしまったり、術中管理で御迷惑をおかけしており、日々
申し訳なく思っておりますが、はやく追いつけるよう努力しますので宜しく御指導をお願い致します。



研修医

坂田 省三

9月からお世話になっております
2年目研修医の坂田省三と申します。

これまで佐賀大学・織田病院で内科を中心に研修
してまいりました。嬉野医療センターでは耳鼻咽喉
科・心臓血管外科・整形外科・小児科・産婦人科で
研修させていただきます。

来年3月までの短い期間ですが皆様よろしくお願
い致します。



臨床心理士（非常勤）

田代 伸也

はじめまして、田代伸也です。9
月1日より臨床心理士として勤務しております。

出身は神戸市ですが、縁あってここ嬉野に住むこ
とになりました。移り住んでまだ日が浅く、周囲か
ら聞こえる九州弁にやや圧倒されつつも、のんびり
とした嬉野の雰囲気に心地よさを感じている毎日
です。

まだまだ馴染みの薄い“臨床心理士”ではあります
が、周囲の方々に支えられながら、日々勤めてお

ります。これからも、多くのスタッフの方々に理解していただけるよう努力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひします。



放射線科医師

牧野 謙二

10月1日付で赴任して参りました。専門は画像診断とIVRです。嬉野で働くのは今回が2度目になります。前回は2001年からの3年間で、その後長崎大学病院に移りましたが、機会があればまたここで働きたいと思っていましたので、その希望が叶い嬉しく思っております。4年間のブランクは意外と大きい、というのがここ数日働いた時点での印象です。新しい環境に慣れることが当面の課題となっています。よろしくお願ひします。



小児科医師

川内 恵美

佐賀病院から異動となり、嬉野医療センターはすごく綺麗な病院施設で驚きました。

産婦人科との理想的な混合病棟は働きやすく、楽しく仕事させて頂いています。

どうぞよろしくお願ひいたします。



循環器科レジデント

吉田 尚広

趣味：酒、音楽、釣り、トローリング

今までの部活動：

軽音学部、ジャズ部、バドミントン部

経歴：長崎市立新興善小学校→長崎市立片淵中学校
→淵中学へ転校→青雲高校

→鳥取大学医学部平成18年卒

→佐世保市立総合病院（研修医）→長崎大学病院（研修医）→長崎大学第二内科循環器入局→成人病センター（レジデント）
→嬉野医療センター（レジデント）

こちらの病院は重症患者さんが多いと聞きます。循環器科の色々な手技が大好きなので一生循環器をやろうと決意し、現在は長大循環器に入局して頑張つ

てます。

この半年は急患を勉強しようと思い、この嬉野医療センターを希望してきました。諸先生たちにはご迷惑をおかけすることと思いますがご指導ご鞭撻よろしくお願ひいたします。

ちなみに飲み会は大好きです。後、バンドやバドミントンなどすることができたら誘ってやってください。ちなみに楽器はギターでフュージョン>ジャズ>ブルース>ファンク>ロックが大好きです。

それではよろしくお願ひいたします。



放射線科技師

深松 昌博

10月1日より、愛知県の豊橋医療センターから来ました診療放射線技師の深松です。大学は名古屋の藤田保健衛生大学で、就職活動時、教授の「国立ならいづれ九州にも帰れるぞ！」という言葉に乗せられ、東海北陸ブロックで就職し、あっという間に十一年が過ぎました。出身は熊本市で、五年ほど九州ブロックへの転勤希望を出し続けて、やっと異動が実現しました。初心にかえって頑張るつもりですので、どうぞよろしくお願ひします。



医師事務作業補助員

森田 優美

はじめまして、10月6日より医師事務補助として働かせていただいております森田優美と申します。まだまだわからない事ばかりでご迷惑をおかけすることと思いますが、一生懸命頑張りたいと思います。みなさん、どうぞよろしくお願ひします。



医師事務作業補助員

八谷 優子

10月より、放射線科と麻酔科の医師事務補助として働かせていただいております八谷優子です。少しでも早く職場に慣れ、先生方の力になれるように頑張りますので、どうぞよろしくお願ひします。


嬉野医療センター・外来診療担当医表

区分	月	火	水	木	金
呼吸器科	午前 飯田 哲也	副島 佳文 松竹 豊司	副島 佳文	飯田 哲也	松竹 豊司
消化器科	午前 町田 治久(消化管) 川副 広明(肝臓)	鶴田 英夫(消化管) 藤本 優(肝臓)	池田 真帆 町田 治久	鶴田 英夫(消化管) 藤本 優(肝臓)	池田 真帆 川副 広明(肝臓)
循環器内科	午前 山方 勇樹 吉田 健夫	波多 史朗	吉田 健夫	波多 史朗 吉田 健夫	山方 勇樹
心臓血管外科	午前 須田 久雄(予約新患)	須田 久雄 力武 一久	須田 久雄(予約新患) 力武 一久(予約新患)	須田 久雄(予約新患)	須田 久雄 力武 一久
糖尿病・膠原内科	午前 河部庸次郎	田中 史子	荒武弘一郎	荒武弘一郎	田中 史子
リウマチ科	午前		溝田 貴光		溝田 貴光
神経内科	午前				
腎臓内科	午前	中沢将之(整形で診察)		中沢将之(整形で診察)	
小児科	午前 川内 恵美	小野 晋康	佐藤 忠司 小児神経(第3水腫) (診察 14:00 ~ 16:00)	田島 大輔 小児神経(第1木曜) (診察 14:00 ~ 16:00)	船越ア希子
	午後 佐藤 忠司 (診察 14:00 ~ 16:00)	乳児検診(完全予約制) (診察 14:00 ~ 16:00)	心臓外来 第1水腫 (受付 13:00 ~ 16:00)	小児腎臓外来 第2木曜 内分泌外来 第3木曜 (診察 14:00 ~ 16:00)	小野 晋康
外科	午前 岡 忠之①②④	生田 安司①②④	薰 和夫①③	柴崎 信一①③	富永 哲郎①③
	午後 岡 忠之・生田安司(乳腺外来) (診察 14:00 ~ 16:00)				
整形外科	午前 村田 雅和 久芳 昭一 穂積 晃	前田 和政 松村 陽介 宮田 倫明	古市 格 村田 雅和 穂積 晃	前田 和政 宮田 倫明	古市 格 松村 陽介 久芳 昭一
脳神経外科	午前 石橋 秀昭	宮園 正之		宮園 正之	
皮膚科	午前 陳 文雅(新患) 岡崎志帆子(再来)	岡崎志帆子(新患) 陳 文雅(再来)	陳 文雅(新患) 岡崎志帆子(再来)	岡崎志帆子(新患) 陳 文雅(再来)	陳 文雅(新患) 岡崎志帆子(再来)
	午前 林田 靖(新患) 計屋 紘信(再来)	計屋 紘信(新患) 大庭康司郎(再来)	林田 靖(新患) 大庭康司郎(再来)	計屋 紘信(新患) 林田 靖(再来)	大庭康司郎(新患) 林田 靖(再来)
泌尿器科	午後	予約外来		予約外来	
	午前 松脇 隆博(産・婦)	一瀬 俊介(産) 松脇 隆博(婦)	助産師外来(9時~16時) (完全予約制)	松脇 隆博(産) 一瀬 俊介(婦)	一瀬 俊介(産・婦)
	午後 助産師外来(14時~16時) (完全予約制)			助産師外来(14時~16時) (完全予約制)	
眼科学	午前 新納 栄良	新納 栄良	新納 栄良	新納 栄良	新納 栄良
	午後 予約外来 (特殊検査・特殊治療)		予約外来 (特殊検査・特殊治療)		予約外来 (特殊検査・特殊治療)
耳鼻咽喉科	午前 宗 英吾 馬場 明子	宗 英吾 馬場 明子		宗 英吾 馬場 明子	宗 英吾 馬場 明子
	午後		宗 英吾・馬場明子 (診察 13:00 ~ 16:00)		
放射線科	午前 牧野 謙二 福井健一郎	牧野 謙二 福井健一郎	牧野 謙二 福井健一郎	牧野 謙二 福井健一郎	牧野 謙二 福井健一郎
	午後				
麻酔科 (ペインクリニック)	午前 香月 亮 上村 裕平	香月 亮 上村 裕平	香月 亮 上村 裕平	香月 亮 上村 裕平	香月 亮 上村 裕平
救急科 (8:30 ~ 17:15)	午前 吉田 昌人	吉田 昌人	吉田 昌人	吉田 昌人	吉田 昌人

ご紹介いただく患者様につきましては可能な限り事前予約をおとりいただきますようお願い致します。
(当院の受付時間は、午前8時30分～午前11時00分迄です。)

※ 内科系 第2・第4木曜日はベースメーカー外来を行っています。

毎週月・金曜日の午後は一般外来を受付けています。(受付 13時~16時)

毎週火曜日午後は乳児健診(受付時間 11時~14時) ■ 第1水曜日の午後は心臓外来(受付 13時~16時) ★完全予約制

毎月第3木曜日の午後は内分泌外来、(受付 13時~16時まで)

毎月第1木曜日の午後は小児神経外来、(受付 14時~16時まで) ★完全予約制

毎月第2木曜日の午後は小児腎臓外来(受付 13時~16時) ★予約制

特殊診療のご案内

外科 ①一般外科 ②呼吸器外科 ③消化器外科 ④乳腺外科 ■ 每週月曜日の午後は乳腺外来を行っております。(受付時間 13時~16時)

整形外科 ご紹介は整形外来宛でお願いします。救急患者については救急室にて対応しています。

泌尿器科 每月第1火曜日の午後は、ストーマ外来を予約により行っています。 ■ 每週火・木曜日の午後は、検査予約外来を行っています。

産婦人科 每週月・木曜日の午後は母乳育児指導を受け付けています。(受付時間 13時30分~15時30分)

耳鼻科 每週水曜日午後は一般外来を受け付けています。(受付時間 13時~16時)

耳鼻科 每週第1・第3木曜日の午前及び毎週水曜日の午後は、補聴器外来を行っています。

麻酔科 ご紹介は月曜日でお願いします。救急の場合にはこの限りではありません。

2008.10.1

朝夕特に寒くなつてまいりましたが、読者の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

遅くなりましたが、嬉野医療センターから広報誌19号をお届け致します。

1面の写真は秋の桜花「コスモス」の写真です。このごろ写真に目覚めた企画課今泉氏の美しいワンショットです。今号は冒頭に中村淳一事務部長から国立病院機構の業務実績の暫定評価が委員会から発表されたとと言うことで紹介していただきました。当院は例年良い評価を受け、上位に位置しているようです。

ついで研修会報告、薬剤科からの情報コーナー、治験室コーナー、第39回となった嬉看祭、第2回健康フェスタ、新人紹介などなど最近の当センターのニュースをご紹介いたしました。

どうぞご自由にお持ちください。お読みいただきご感想などお寄せいただければ幸いに存じます。

広報誌編集副委員長 計屋 紘信 (0954-43-1120 内線669)

編集後記